

環境・食・文化の研究拠点を目指して

— 平成 22 年度三重大学伊賀研究拠点の活動報告 —

社会連携研究センター・産学連携コーディネーター

人 見 一 晴

1 はじめに

「環境・食・文化」を基本テーマに伊賀市と三重大学が連携して拠点を設け、新技術・新商品開発研究を軸に新産業の育成を図るとともに、文化的啓発活動等を通して地域の活性化に貢献するとの目的のもと様々な活動を行った。

学内・外講師を招いてのセミナー・研究会の開催、地元企業等との共同研究・受託研究の実施、こども大学、出前授業の実施、各種イベントへの出展などこの1年間の活動について報告する。

2 セミナー・研究会・説明会

① 三重大学産学官連携セミナー in 伊賀 2010

産学官連携の促進と伊賀研究拠点の定着化を図るためセミナーを開催した。

○第1回 (H22・7・16 於：サンピア伊賀)

講演①「産学官連携に向けて」

講師：京都大学名誉教授 沢田 敏男
(元京都大学総長・文化勲章受章者)

講演②「三重大学のこれから」

講師：三重大学長 内田 淳正
報告「菜の花プロジェクトから生まれた新製品紹介」

報告者：伊賀市産業建設部農林振興課
主幹 小林 康志

三重大学社会連携研究センター
教授 山本 好男

○第2回 (H23・1・28 於：サンピア伊賀)

基調講演「三重大学フィールドサイエンスセンターから～地域連携の取り組みと三重大学発果樹栽培の新技術」

講師：三重大学大学院生物資源学研究科
(附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター長)

教授 平塚 伸

報告「伊賀研究拠点の活動報告」

三重大学社会連携研究センター

産学連携CD 人見 一晴

インキュベーション入居者報告①

「組み込み機器の設計開発」

日本ソフトウェアサービス(株)

巽 吉史

インキュベーション入居者報告②

「酵素を使用した水質改善剤の研究・実用化」

小原 貞和

共同研究から

「有害獣として捕獲した獣肉等の有効活用」

(有)芭蕉農林 中森 律子

受託研究・受託事業から

「獣害の実態調査及び獣害対策ワークショップの実施」

「菜の花プロジェクト・簡易工法による湿田の乾田化事業」

三重大学社会連携研究センター

教授 山本 好男

② 環境健康学研究会

みえメディカル研究会の一研究会として、化学物質などの情報収集、健康への影響等について産学官民で研究活動を行うため研究会を開催した。

○第3回 (H22・9・17 於：ゆめテクノホール)

特別講演①「放射化分析による生体試料中の多元素定量」

講師：首都大学東京 健康福祉学部
准教授 加藤 洋

特別講演②「地域におけるヘルスプロモーションの展開」

講師：大阪教育大学 教育学部
教授 山川 正信

講演「PRTR情報：三重県における化学物質の排出量・移動量の推移」

講師：三重大学 社会連携研究センター
教授 山本 好男

○第4回（H23・3・28 於：サンピア伊賀）

基調講演「糖尿病の予防から治療まで～国民的
疾病をいかに克服するか～」

講師：三重大学保健管理センター所長
教授 住田 安弘

報告①「基本姿勢は心斜め15度です～社会連
携・知財活用・研究開発の支援活動～」

報告者：三重大学社会連携研究センター
特任教授 松井 純

報告②「メディカルバレー構想の今後の方向性
について」

報告者：三重県健康福祉部薬務食品室
副参事兼副室長 高村 康

報告③「伊賀産菜種油の利活用」

報告者：伊賀市産業建設部農林振興課
主幹 小林 康志

なお、本研究会は伊賀市の「第10回メディカ
ルフォーラム in 伊賀」との合同開催とした。

③ BDFセミナー（菜の花プロジェクト勉強会）
伊賀市が推進する「菜の花プロジェクト」につ
いての各種勉強会を実施した。

○第3回（H22・8・6）

基調講演「伊賀・バイオマス・森林」

講師：三重大学伊賀研究拠点
客員教授 山崎 忠久

特別講演「上総一ノ宮ECO・エネルギー

プロジェクトについて」

講師：上総一ノ宮町長 玉川 孫一郎

○第4回（H23・3・4）

基調講演「畜糞・木質系バイオマスエネルギー
化先進事例と問題点」

講師：東海地域生物系先端技術研究会
コーディネーター 大宮 邦雄

成果発表Ⅰ「エミッションファクターによる
BDF製造のCO₂削減試算」

発表者：三重大学伊賀研究拠点
客員教授 加藤 進

成果発表Ⅱ「LCAからみたBDF製造の
CO₂削減試算」

発表者：日本工業大学
教授 八木田 浩史

成果発表Ⅲ「ストーブによる廃グリセリンの
燃焼実験」

発表者：三重大学大学院生物資源学研究科
教授 王 秀崙

成果発表Ⅳ「菜の花プロジェクトによる地域
交流評価」

発表者：三重大学伊賀研究拠点
客員教授 大原 興太郎

④ その他（説明会）

- ・伊賀研究拠点分析機器・測定説明会
- ・競争的資金・支援事業説明会

3 共同研究・受託研究等

地元企業等との間で、次のテーマで共同研究・受
研究等を実施した。（ ）は担当教官

- ・おかみさんブランド新商品開発・研究（磯部）
- ・簡易薬物分析器実証試験（山本）
- ・簡易薬物分析器の開発（山本）
- ・土壌中窒素の簡易測定法の検討（山本）
- ・酸化チタンの触媒反応を利用した有機物処理
装置開発（山本）

- ・湿田を簡易工法で乾田化する研究（山本）
- ・ヘドロ底質の改善に関する研究（前田）
- ・獣害対策と「ジビエ」を活用した地域振興策の検討
（山本・磯部・平島）
- ・ゼオライトの安全性・機能評価（山本）
- ・バイオマス利活用高度化に関する調査・研究
（前田・王・大原・加藤）

4 イベント出展・参加

伊賀研究拠点の研究成果の周知及び認知度を高めるため各種イベントに出展・参加した。

- ・マルシェ・ジャポン伊賀上野（5・29～30）
- ・伊賀の産業展（8・22）
- ・三重県関西連携交流会（8・27）
- ・びわ湖環境ビジネスメッセ（10・20～22）
- ・三重農商工連携フェア（10・24）
- ・みえ産学官研究交流フォーラム 2010（11・5～6）
- ・上野ガス・ガス展（11・5～7）

5 連携・支援活動

伊賀市、三重県産業支援センター等関係機関が主催する各種セミナー・研究会の開催に協力した。

また、未来を担う子供たちに科学技術への興味を深めてもらうため、伊賀市内等の小学校への出前講座（19校）、「ゆめテクノ伊賀こども大学」、上野高校理科実験授業、職場体験などを実施した。

さらに、企業等からの技術相談（36件）に対応するとともに、「ゆめテクノ伊賀」内に設置されているインキュベーションルーム（5室）の入居企業に対し技術支援を行った。

- ・伊賀市菜の花プロジェクト（伊賀市）
- ・資源循環研究会
（三重県産業支援センター・サポート研究会）
- ・獣害対策研究会
（三重県産業支援センター・サポート研究会）
- ・獣害・獣害対策研究会
（三重県・中部電力㈱・三重大学）
- ・知的財産活用セミナー

（中部経済産業局・伊賀市）

- ・伊賀市文化フォーラム 2010（全6回開催）
（三重大学・皇学館大学・伊賀市）

6 運営経費の確保

伊賀研究拠点の運営経費については、平成21年度に引き続き文部科学省の「特別教育研究経費（連携融合事業）」に採択され、専任教員・研究員等の人件費、研究活動費、セミナー開催経費等に充当した。

さらに、間接経費及び奨学寄付金（2件）による支援により運営経費の確保を図った。

7 おわりに

伊賀研究拠点の設立に尽力された前田広人所長が平成22年10月1日付で鹿児島大学へ転任された。地元対応はもとより、運営予算確保のため文部科学省との折衝など精力的かつ粘り強く行動されたお陰で伊賀研究拠点が創設されたと言っても過言でない。先生の意志を引き継ぎ、着実に歩み続けることを誓うところである。

この一年を振り返り、分析機器や測定機器等も整備されたので、地元企業の利用も増え、活動も広範囲になってきた。地元頼られる存在として、また、身近な存在として機能するよう努力する必要がある。

伊賀市と共同して取り組んでいる「菜の花プロジェクト」では、湿田の乾田化、良質なBDFの製造、菜種油を活用しての新商品開発等いくつかの成果を上げることができた。さらに、発展させ産学官連携の成功事例として評価されるよう一層取り組みを深めていきたい。

地域には様々な課題があり、その解決のための一助となり、地域の活性化に伊賀研究拠点が役立つことを願うところである。

*活動内容は以下のHPをご覧ください

<http://www.iga.mie-u.ac.jp>